

科目名：看護技術論Ⅲ (Fundamentals of Nursing Skill Ⅲ) 履修年次/時期：1 年次 前期 授業形態：講義・演習 担当教員：飯塚雅子（実務経験有） 北村容子（実務経験有） 横正奈緒美（実務経験有）		必	1 単位 (45 時間)	
学習目的	看護技術論Ⅱに引き続き、安全・安楽・自立を目的に、科学的思考および豊かな人間理解に基づいて行われる看護の基本的な方法であり、看護実践に共通する基本的な看護技術を修得することを目的とする。対象者の日常生活行動を支援するための清潔・衣生活、排泄の基礎的技術において、科学的根拠に基づいて学修し、演習を通して理解を深める。 CP2, 3, 4 関連する。 科目No. KNz-129			
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP			
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	①清潔および衣生活の意義とその援助の目的について述べるができる。 ②対象の状態に応じた清潔援助および寝衣交換を実施できる。 ③排泄の意義がわかり、対象の状態に応じた排泄援助の方法を述べるができる。			
授業概要	人にとっての日常生活行動の意味を理解し、対象の日常生活を支援するための原理・原則や根拠に基づいた看護を提供する能力を学ぶ。清潔・衣生活、排泄の援助技術を学ぶ。			
評価方法	筆記試験 80% 課題 20% (①横正、②横正、③飯塚、④北村 各 5 点×4 課題) 詳細は授業内で提示する。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。			
予習・復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間			
教科書	系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 任 和子ほか、医学書院			
参考書	必要時、提示する。			
問い合わせ連絡先	飯塚雅子 3 号館 3 階研究室 iizuka.masako@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします 北村容子 3 号館 3 階共同研究室 y.kitamura@kdu.ac.jp 同上 横正奈緒美 3 号館 3 階共同研究室 yokosho@kdu.ac.jp 同上			

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	清潔・衣生活援助技術 (1) ①清潔の意義とその援助の目的がわかる。 ②皮膚・粘膜のしくみと清潔のアセスメントのポイントがわかる。 ③清潔援助の効果と留意点がわかる。 課題①：内容、提出日時は授業内で提示する (5点)	[予習]基礎看護技術Ⅱ第6章A、サブテキスト第6章を読み、分らない言葉を調べておく。 [復習]講義内容を振り返る。 [キーワード]清潔の意義、皮膚の構造と機能、全身への効果と留意点、心理・社会的な効果	講義 ○横正
2 (/)	清潔・衣生活援助技術 (2) ①入浴の援助の効果や留意点がわかる ②シャワー浴の効果や留意点がわかる	[予習]基礎看護技術Ⅱ第6章A・B、サブテキスト第6章を読み、分らない言葉を調べておく。 [復習]援助計画 (演習ノート) を仕上げ、関連する動画を視聴する。 [キーワード]入浴・シャワー浴	講義 ○横正
3 (/)	清潔・衣生活援助技術 (3) ①手浴の援助の効果や留意点がわかる ②足浴の援助の効果や留意点がわかる ③洗髪の手浴の援助の効果や留意点がわかる ④整容の援助の効果や留意点がわかる 課題②：内容、提出日時は授業内で提示する (5点)	[予習]基礎看護技術Ⅱ第6章A・B、サブテキスト第6章を読み、分らない言葉を調べておく。 [復習]援助計画 (演習ノート) を仕上げ、関連する動画を視聴する。 [キーワード]手浴、足浴、洗髪、整容、ケリーパッド、洗髪車、洗髪台	講義 ○横正
4 (/)	清潔・衣生活援助技術 (4) ①全身清拭の援助の効果や留意点がわかる ②衣生活の意義と療養に適した寝衣の条件がわかる。 ③基本的な寝衣交換の方法がわかる。 課題③：内容、提出日時は授業内で提示する (5点)	[予習]基礎看護技術Ⅱ第6章A・B、サブテキスト第6章-2-②を読み、分らない言葉を調べておく。 [復習]ポートフォリオおよび援助計画 (演習ノート) を仕上げ、関連する動画を視聴する。 [キーワード]清拭、清潔と衣生活に影響する要因、清潔と衣生活のアセスメント	講義 / グ ループワ ーク / 個 人ワーク ○飯塚
5・6 (/) B: A:	清潔・衣生活援助技術 (5) (6) 【足浴】 ①患者の状態に応じた足浴の方法を習得する。 【手浴】 ①患者の状態に応じた手浴の方法を習得する。	[予習]作成した援助計画 (演習ノート) を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 [復習]演習内容を振り返る。 [キーワード]手浴・足浴	演習 / グ ループワ ーク ○横正 飯塚 北村
7・8・9 (/) A:	清潔・衣生活援助技術 (7) (8) (9) 【清拭+寝衣交換】 ①患者の状態に応じた清拭および寝衣交換の方法を習	[予習]作成した援助計画 (演習ノート) を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。	演習 / グ ループワ ーク

<p>(/)</p> <p>B:</p>	<p>得する。</p>	<p>[復習]演習内容を振り返る。</p> <p>[キーワード] 温湯清拭、寝衣交換、迎え袖、清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助</p>	<p>○飯塚 北村 横正</p>
<p>10 (/)</p>	<p>排泄援助技術 (1)</p> <p>①排泄の意義およびが患者の尊厳を踏まえた援助の基本わかる。</p> <p>②排泄 (排尿・排便) のメカニズムがわかる。</p> <p>課題④: 内容、提出日時は授業内で提示する (5点)</p>	<p>[予習]基礎看護技術Ⅱ第3章A、サブテキスト第3章-1を読み、分らない言葉を調べておく。</p> <p>[復習]講義内容を振り返る。</p> <p>[キーワード]排泄に影響する要因、排泄のアセスメント、自然な排泄を促す援助</p>	<p>講義 ○北村</p>
<p>11 (/)</p>	<p>排泄援助技術 (2)</p> <p>①排泄の援助の必要性を判断する指標がわかる</p> <p>②患者の状態に応じた排泄援助の実際がわかる。</p>	<p>[予習]基礎看護技術Ⅱ第3章A、サブテキスト第3章-2を読み、分らない言葉を調べておく。</p> <p>[復習]援助計画 (演習ノート) を仕上げ、関連する動画を視聴する。</p> <p>[キーワード]排泄の援助 (床上、トイレ、ポータブルトイレ、おむつ)、失禁のケア、床上での排泄の援助</p>	<p>講義 ○北村</p>
<p>12・13 (/)</p> <p>A:</p> <p>B:</p>	<p>清潔・衣生活援助技術 (10) (11)</p> <p>【洗髪】</p> <p>①患者の状態に応じた洗髪の方法を習得する。</p>	<p>[予習]作成した援助計画 (演習ノート) を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。</p> <p>[復習]演習内容を振り返る。</p> <p>[キーワード]ケリーパッド、洗髪台</p>	<p>演習 / グ ループワ ーク ○横正 飯塚 北村</p>
<p>14・15 (/)</p> <p>B:</p> <p>A:</p>	<p>清潔・衣生活援助技術 (12)</p> <p>排泄援助技術 (3)</p> <p>【陰部洗浄+おむつ交換】</p> <p>①おむつを使用した陰部洗浄の方法を習得する。</p>	<p>[予習]作成した援助計画 (演習ノート) を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。</p> <p>[復習]演習内容を振り返る。</p> <p>[キーワード]陰部洗浄、尿失禁・便失禁のある人への援助</p>	<p>演習 / グ ループワ ーク ○北村 飯塚 横正</p>